

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

対象6名回答

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	休日で利用数が多い際は篠ノ井北も開所し、適切な人数になるようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	0	配置基準は満たしている。日によって(お子さんの状態によって)もう少し人手が欲しい時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0	6	0	反省からの再構築に課題。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	1	単独のホームページ作成中
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	3	現在は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	年2回の職場内研修に加え、可能な限り外部の研修にも参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0	アセスメントの決められたツールがない。支援会議や、面談、職員間のケース検討などによる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	標準化されたアセスメントツールはない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		各プログラム担当の職員が決定しおこなっている事が多い。活動については職員で相談し計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		固定化する良さもある。お子さんにもよる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	1	休日、長期休みは課題より安全に一日過ごしていただく事が第一になっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	全体活動に参加が難しい児童に対して、個別に取り組める活動を計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	気付いた点を職員で話し合い、共有するようにしている。必ず行っているわけではない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	0	記録はとっているが、支援の検証、改善につながる内容であるかは疑問。内容の精査は今後も必要。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	

関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1	0	情報共有できる学校と保護者を通じての場合がある。(学校側の姿勢によって)
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	0	医療的ケアはすべて訪問看護ステーションに委託。主治医の看護指示書に基づくケアを実施。主治医とつながっているかは不明。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0	保育園等と直接情報共有する事はない。努力でつながれる場合とそうでない場合がある。(個人情報の問題で)
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	0	必要とされれば提供したい。現状、移行支援会議などには呼ばれない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	4	児童館との交流はできていないが、ボランティア等で来た方との交流はある。今後の大きな課題。少しずつではあるが取り組んでいる。個人情報の関係で慎重にならざるを得ない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	送迎の際に情報交換を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2		日々の会話の中で助言はしている。アドバイスにとどまっている。ペアレントトレーニングできる職員の育成と場の提供が課題。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	0	相談があれば随時、または面談時に実施。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	5	保護者会がない。保護者参加型の行事を企画。あくまでも後方支援として保護者のつながりを意識している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	苦情には速やかに対応するが、子どもや保護者に周知はしていない。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	毎月お便りを出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6		0	支援者同士の立ち話に注意。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2	0	情報を視覚で確認できるように貼り出している。より個別化できるようにし、保護者に対してもわかりやすさを追求したい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	3	ボランティアや講師として地域の人材を多く活用している。
非常時 等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	4	0	保護者への細かな内容までの周知はできておらず、課題。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	2	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	4	0	該当なし。今後あったら必要な手順を踏む。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4	0	該当ケースなし。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	